
クローン

ピーマン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

クローン

【Nコード】

N7477I

【作者名】

ピーマン

【あらすじ】

3XXX年、クローン技術が進化をし、一人に1つのクローンが作られるようになった。

クローンは、主が生まれると同時に作られ、主と同じように育っていく、しかし主が病気や事故で内臓や肉体が無くなったとき、クローンの体が提供される。

クローンにも主と同じ人格がある、しかしクローンは、製造されたとともに地下に監禁される

クローンは飲まず食わずでも生きていける。ただ、地下の暗い中で

待っているだけ。

そんな中、クローン製造史上初めて暴走した

製造番号Z2804

の話

脱走（前書き）

初めて小説を書きました。

誤字脱字があるかもしれませんが、どうぞ温かい目で見てください。

脱走

3XXX年、クローン技術が進化をし、一人に1つのクローンが作られるようになった。

クローンは、主が生まれると同時に作られ、主と同じように育っていく、しかし主が病気や事故で

内臓や肉体が無くなったとき、クローンの体が提供される。

クローンにも主と同じ人格がある、しかしクローンは、製造されたとともに地下に監禁される

クローンは飲まず食わずでも生きていける。ただ、地下の暗い中で待っているだけ。

「俺はそんなのはいやだ」

俺は、製造番号Z2804、製造されて19年がたった

なぜか俺は主とは違う考えを持つことができた

5月10日、俺はこの暗い地下から逃げ出すことに成功した

今まで、クローンの暴走は1件も前例がない、だから警備が手薄だった

警備員を後ろから殴って気絶させ、警備員になりすまし逃げ出すことができた。

地上に出てからは、とにかく走った

あの暗い場所から遠ざかるために

しかし、うまく走れない

俺の主はどつやら、体が弱いらしい

10kmくらい走ったところでようやく腰を下ろした

走っている時には地下では考えられないほどの「明かり」がみえた。

出会い

脱走できたことはいいものの、これから行く当てもない。

俺が逃げたことは、公にはされていなかった。

「クローンの暴走」

こんなことが記者達にばれたら政府は信頼を失いかねないからだろう。

時間は夜中、とりあえず近くにあった公園に入った

「おう、おまえ新入りか？」

突然一人の男性がこえをかけてきた

男は、ホームレスのようだった。

ボロボロの服で夜中にさまよってたため俺もホームレスだと思っらしい

内心むかついたが、行く当てもない

「．．．はい」

低い声で俺はこういった

「そうか、泊まる場所がねえだろ？今夜は俺の家に泊まっていけよ！」

俺は、この男の言葉が信じられなかった

少なくとも俺が今まで見てきた人間傲慢で卑劣なやつばかりであった。

「いえ、遠慮しときます」

「意地はるなって！よしまりだ泊まってけ」

強引に決まってしまった。

男の家はいえと言っても、とてもボロボロの木材の壁と薄汚いプラスチックの屋根の

家だった。

「俺の名前は、皆藤 慎治だおまえの名前は？」

ナマエ・・・自分の名前そういえば考えたことなかった。

「どうしたんだよ黙って」

慎治はせかし始めた

俺はとっさに

「さ・・・か・・・い・・・ま・・・な・・・ぶ・・・」

自分でも驚いた

自分の名前を考えてたら、頭の中にかすかに覚えていた

「そうか、まなぶよろしくな」

慎治はインスタントのスープにお湯をいれ、スープをまなぶに差し出しながらいった。

俺が初めて見た、人間の温かいところ、

涙があふれ出した。

こうして俺たちは出会った。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7477i/>

クローン

2010年10月20日19時16分発行